

# タウンニュース

発行責任者/宇山 知成 編集長/利根川真紀  
 電話 タウンニュース社 ☎045-824-6800 FAX045-824-6700 金沢区編集室・〒244-0803横浜市戸塚区平戸町259 http://www.townnews.jp

タウンニュース金沢区版は 朝日・読売・毎日新聞に  
 毎週木曜日46,650部 折込んでいます

県内全域・東京都内3エリアに計234万部折込配布

金沢区版は  
 ココにも  
 置いています  
 ※数に限りがあります

金沢区版/No.459 2017年(平成29年) 1月19日(休)号



子どもも出入りしやすい稚穂

男女がともに働きやすい  
 職場づくりを進める事業所  
 を表彰する「よこはまグッ  
 ド」がこのほど発表され

「子どもも出入りしやすい稚穂」  
 ドバランス賞、働きやすく  
 子育てしやすい中小事業所  
 がこのほど発表され

## 春峰園

### グッドバランス賞に認定

「社員に合わせ、働きやすく」

春峰園(釜利谷東)が初めて選ばれた。この賞は横浜市が2007年に開始し、今年で10回目。今年は新たに、市内で16事業所が認定された。

造園工事や土木設計施工などを行う春峰園は、1976年の創業。「建設業も昔とは違う。女性が働くようになったら5年ほど前から、働きやすい環境整備を課題として徐々に取り組んできた」と、専務取締役の相澤升平さん(写真右)は話す。休暇制度はもうひとつ、「運動会や授業参観など家

族的な行事で休みを申請できる雰囲気を整えてきた」春峰園で働く女性は現在、事務と現場監督を務める2人。総務部の前川彩子さん(写真左)は3人の子どもを育てる母親だ。「小学校が終わると事務所に顔を出して家に帰るような雰囲気。今終わったんだと分かって安心する」と話す。午前中のみ勤務の正社員や、子どもの看病などでやむを得ない場合の自宅からのパソコン作業を認めているという。「それぞれの事情に合わせて融通が効く点が働きやすいところ」と前川さん。相澤さんは「今後もニーズに合わせて、社員隔たりなく働きやすい環境をつくってきたい」と話した。

横浜市立大学  
 附属病院

## がん患者の就労相談開始

治療と仕事の両立目指し



相談窓口が設置される  
 横浜市立大学附属病院

がん患者の「仕事」に関する相談窓口が、横浜市立大学附属病院2階外来ブース(福浦3の9)に1月27日(金)から開設される。専門家である社会保険労務士が治療と仕事の両立に対してのアドバイスをしてくれる。毎月第4金曜日の午後1時から5時。

神奈川県と横浜市は県社会保険労務士会の協力を得て、がん診療連携拠点病院などでがん患者とその家族を対象とした「仕事に関する相談窓口」を2014年から設置している。相談に対応する社会保険労務士とは、労働、年金、社会保険などに関する専門の国家資格。「会社の制度をどう利用

横市大附属病院での開設は、神奈川県立がんセンター(旭区)、横浜市立市民病院(保土ヶ谷区)、横浜しごと支援センター(中区)に続き4例目。同院は数年前から「がん相談支援センター」を設置し、主にがんの治療全般についての相談にあたりてきた。師長でがん看護専門看護師の畑千秋さんは「相談する選択肢が増えるのは良いこと」と話す。「仕事を辞めてから相談してきた人の中には、辞めず

にどうにかできたか」と思うケースがいくつかあった。相談できる場所があるという情報がすべての患者さんに伝わるとうい願う。

### 法整備で支援後押し

がんは日本人の死亡原因の第1位を占めており、市内のがんり患者数は2万2803(11年現在)。がんと診断された場合、約34%が離職しており、うち40%は治療開始前というデータもある。

### ひまわり鍼灸整骨 足もと「スツキ」



丁寧に施術する

寒さが増し、足もとの循環が悪くなるこの季節。ひまわり鍼灸整骨院では、「足